

平成30年度 第2回学校自己評価結果（教職員対象）

☆総括 全項目平均 「3. 27」(第1回3. 20) (昨年3. 16) (回答数12 管理職を除く)

第1回評価及び昨年平均と比較し、ポイントとは上昇している。よって、おおむね十分であると判断できる。

評価基準【 4:十分である、 3:おおむね十分である、 2:やや不十分である、 1:改善を要する 】

全11項目(丹頂プランを3項目とする。)中、6項目について全て◎3. 2以上の評価が得られた。この結果により、学校教育目標や学校経営方針については全教職員が共通理解のもとで学校経営に参画しているといえる。丹頂プランについては、目指す学校像と教師像について高い評価が得られている。これは、今年度4回実施した校内研修会の成果であるといえる。しかし、目指す生徒像については3. 1と評価が低くなっており、次年度からはじまる総合的な探求の時間や学習指導要領改定に係る教育課程編成に向けて重要なポイントとなるため、目指す生徒像確立に向けて早急な対応が迫られる。また、2学校経営方針の④特別支援教育の理解を深め、個に応じた教育の推進が3. 7と高い評価となっている。これは、今年度、養護教諭及び特別支援教育支援員が中心となり、パートナーティチャーや教育相談委員会と連携し、個に応じた生徒のサポートが実践されている成果だといえる。しかし、3学習指導の④家庭での学習習慣の定着を図る指導に努めるが2. 5と評価が低く、この項目については第1回評価及び昨年評価ともに2. 5であり、家庭学習の必要性を生徒や保護者が理解し、長期的な計画のもとにすすめていかなければならない課題である。

※評価点の高い項目(3. 2以上)は◎で示した。＜ ＞内は第1回()内は昨年の平均値。

	平均			評価点
1 学校教育目標(一人一人を大切にし、豊かな心の育成をめざす)				
① 夢と希望を持ち、意欲的に学ぶ心	◎3.4	<3.0>	(3.0)	◎3.4
② 誠実に協力し合い、人を思いやる心	◎3.4	<3.4>	(3.3)	<3.2>
③ 心身を鍛え、健康・安全に努める心	◎3.3	<3.0>	(3.1)	(3.2)
④ 地域文化と自然を愛する心	◎3.5	<3.4>	(3.4)	
2 学校経営方針				
① 自他の生命を尊重し、確かな学力を育む教育活動の推進	◎3.5	<2.9>	(3.0)	◎3.5
② 信頼される学校を目指し、家庭や地域、関係機関等との密なる連携	◎3.5	<3.5>	(3.4)	
③ 教職員の共通理解と実践で、いじめのない安全・安心な学校づくり	◎3.5	<3.2>	(3.3)	
④ 特別支援教育の理解を深め、個に応じた教育の推進	◎3.7	<3.6>	(3.4)	
⑤ 学校経営に参画する視点から、服務規律の遵守や業務の適正化を適切に行う教職員集団の構築	◎3.3	<3.1>	(3.3)	
3 学習指導				
① 学び方の指導や授業規律を重視し、基礎・基本的事項の徹底を図る指導に努める	3.2	<3.1>	(3.1)	3.1
② 体験的な学習や個に応じた指導を重視し、学ぶ喜びを体得させる指導に努める	◎3.4	<3.4>	(3.3)	
③ 学習意欲を引き出すためのシラバスづくりや、学習形態の工夫・改善に努める	◎3.4	<3.3>	(3.1)	
④ 家庭での学習習慣の定着を図る指導に努める	2.5	<2.5>	(2.5)	
4 生徒指導				
① 心のふれあいを重視し、人間関係を基調とする指導に努める	◎3.4	<3.5>	(3.3)	◎3.4
② ルールの必要性を理解させ、人としての在り方生き方を考えさせる指導に努める	◎3.5	<3.1>	(3.2)	
③ 生徒、保護者との連携を密にし、指導体制の充実に努める	◎3.4	<3.5>	(3.3)	
④ 情報を共有し合う態勢を整え、事故などの未然防止に努める	◎3.3	<3.2>	(3.1)	
5 進路指導				
① 各種行事をととして望ましい勤労観・職業観の育成に努める	3.2	<3.4>	(3.2)	3.1
② 生徒理解に努め、個に応じた進路指導の実践に努める	3.1	<3.3>	(3.1)	
③ 資料整理を行い、情報提供及び必要な情報を入手できる環境づくりに努める	2.8	<2.8>	(3.2)	
④ 内外の各機関との連携を密にし、進路支援体制の充実に努める	◎3.3	<3.0>	(3.0)	
6 健康安全指導				
① 健康相談等をととして自ら進んで健康管理できる能力、実践力の育成に努める	◎3.3	<3.4>	(3.2)	◎3.3
② 関係諸機関と連携を図り、計画的・効果的な保健指導や体力づくりの実践に努める	◎3.4	<3.2>	(3.2)	
③ 全教育活動を通して、自他の生命を尊重し健康安全に係る意識を高め事故防止に努める	◎3.3	<3.3>	(3.0)	
④ 清掃や奉仕活動等を通して、学習環境、地域環境を整備し美化意識の育成に努める	◎3.4	<3.5>	(3.3)	
7 事務部運営				
① 各分掌、学年、委員会との連携を図り、教育活動を支援する	◎3.3	<3.2>	(3.1)	3.1
② 常に創意・工夫した事務改善を行い、学校事務の効率化を図る	3.1	<3.1>	(3.1)	
③ 適切な予算編成と計画的に予算を執行する	3.0	<3.0>	(3.2)	
④ 施設・設備の整備充実に図り、よりよい教育環境の実現をめざす	2.9	<2.8>	(3.1)	
8 遠隔授業				
① 個に応じた指導の充実(受信側教員の評価方法の充実)に努める	◎3.3	<3.3>	(3.0)	◎3.2
② 学習の選択幅の拡大(他教科への導入の研鑽)に努める	3.0	<3.0>	(3.1)	
③ 指導力の向上に努める	◎3.3	<3.0>	(3.2)	
④ 教員の資質向上に努める	◎3.4	<3.3>	(3.2)	
9 丹頂プラン(の推進・実現状況)				
＜目指す学校像＞				◎3.4
① 学ぶ喜びのある 学校(社会に適用する力)	◎3.4	<3.3>	(3.1)	
② 仲間と成長できる 学校(コミュニケーション力)	◎3.5	<3.4>	(3.2)	
③ 安心した生活ができる 学校(落ち着いた学習環境)	◎3.3	<3.3>	(3.4)	
④ 地域から信頼される 学校(地域と共に発展)	◎3.5	<3.5>	(3.5)	
＜目指す生徒像＞				3.1
① 当たり前の実践ができる 生徒(挨拶やマナー)	3.2	<3.0>	(3.2)	
② 社会に適用する力を持つ 生徒(基礎基本の学力)	2.8	<2.7>	(2.8)	
③ 自立精神と積極性を持つ 生徒(進路実現)	2.9	<3.0>	(3.1)	
④ 地域への貢献ができる 生徒(地域の文化や自然)	◎3.5	<3.5>	(3.3)	
＜目指す教師像＞				◎3.4
① 生徒を愛し共に伸びる 教師(愛情)	◎3.5	<3.4>	(3.4)	
② 目標達成に向け邁進する 教師(実践)	◎3.4	<3.3>	(3.4)	
③ 保護者や地域から愛される 教師(信頼)	◎3.3	<3.5>	(3.4)	(3.4)

※成果・課題・改善の方策等の意見については裏面に記載。

成果・課題・改善の方策等の意見

- 1 学校教育目標
 - ・生徒に夢や希望を持たせ、指導しようとする教員が多く、それは、ほとんどの生徒に伝わっているのではないか。
 - ・意欲的、自発的という点では、更に鍛えるところがある。
- 2 学校経営方針
 - ・「人の大切さを考える授業」では、外部からも様々な感想等がありましたが、実情を見るとベストであったと思う。
 - ・分掌の役割分担を見直すべき。
- 3 学習指導
 - ・各教科・科目で特色ある授業を実践している。
 - ・家庭学習の定着については以前よりの課題。長期目標が必要ではないか。
 - ・本人のやる気スイッチを見つけるのは難しい。でも、そのスイッチを押す努力を。
- 4 生徒指導
 - ・指導事項があった際は、部会もすぐに開かれ、情報共有がされている。
 - ・十人十色の性格がある。しかし、様々な人との交わりを大切にしていける指導。
- 5 進路指導
 - ・小規模校であることから進路が中心となり、学年と協同して3学年の履歴書や志望理由書作成等を取組めたら良いと思う。
 - ・本人の適性を見極めた上で進路を実現させたい。10年後に退職していない進路指導。
- 6 健康安全指導
 - ・健康相談に関する保健室来室も多い状況。今後、多様化することが考えられる。相談に対応できるようにしていく必要がある。
 - ・体験入学のアンケートより「校舎の新旧よりも汚さが目立った。」という回答があった。
 - ・人数の少ない学校ながら、欠席やケガが多いと感じる。データ分析等の対策を。
- 7 事務部運営
 - ・予算と必要経費のやりくりにより仕方なく厳しい業務経営をしていると思う。次の手はまだ打てないのか（生徒会費、PTA会費の値上げなど。）
 - ・道予算の減少もわかるが、一問口校、学校立地の状況にもかかる経費とちがう予算請求を。
- 8 遠隔授業
 - ・個への対応をきめ細かく指導していただいている。（学び直しや通信など。）
 - ・LPでの交流の目的と成果を最後に示して欲しい。
 - ・全てが遠隔かというものではないが、1つの形態としては良い。
- 9 丹頂プラン（の推進・実施状況）
 - ・学校内での挨拶はとても良い。またコミュニケーション力に関して話す事が苦手な生徒も個を表現できる場面が多い（行事など）ため、今後も大切にしていける必要がある。
 - ・生徒の高校3年間での伸びはとてもすごいと思うが、社会で通用するレベルかと比較するともう少しかとも感じる。
- 10 その他
 - ・若い教員が多い集団で、そこが魅力であると思います。例えば、生徒との距離が近いなど。しかし、視野を広げ多岐に渡る業務をこなさなければならないという若さゆえに難しい課題もあります。ベテランの先生をはじめ「育てる」という視点を持っていただけると良いのかなと思います。その体制や雰囲気醸成されると継続性のある学校になっていくのかなと思います。
 - ・教員の異動に伴う校内人事の安定化（今後の見通し、スムーズ化）を望む。